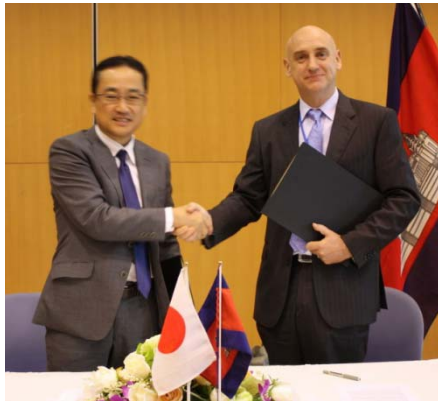


平成24年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典



3月1日（金）、平成24年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、樋口義広臨時代理大使とオール・イヤーズ・カンボジアのグリーン・ボーゲン代表が、「プノンペン都における聴覚診療所整備計画」（供与限度額：91,429ドル）案件の贈与契約書に署名を行いました。

本案件では、被供与団体が運営するプノンペン都内の聴覚診療所に聴覚医療機材を設置することで、患者の聴覚疾患を正確に検査する環境を整備します。同診療所において正確な聴覚検査を実施し、患者の聴覚疾患に合った治療や補聴器の提供が可能になることで、患者の聴覚機能が増進されることが期待されます。更に、治療や補聴器の使用で聴覚が向上することにより、聴覚疾患を持つ人々が経済・社会的に自立することも期待されます。また、特に乳幼児や子どもの聴覚疾患の正確な診断及び早期発見が可能になることで、聴覚障害を持つ子どもが幼児期から自らの聴覚疾患に合った補聴器を使用して聴覚を矯正できるようになる他、慢性的難聴・聴覚障害を防ぎ、言語習得や認知発達が可能になります。その結果、聴覚疾患を持つ子どもであっても、一般の教育機関で教育を受けられるようになることが期待されます。



式典では、樋口臨時代理大使がスピーチを行い、本事業で被供与団体が運営するプノンペン都内の聴覚診療所が整備されることにより、提供される聴覚サービスの質が向上することが期待される旨述べました。続いて、グリーン・ボーゲン代表が日本国民及び政府への感謝の意を表明し、人材育成の継続及びより良いサービスの提供に努めることを約束しました。

